

一般質問

区外対策の取り組みと現状を示せ



高野初雄議員

区外者世帯の現状と各種書類等の送付状況及び必要経費はどのようなになっているのか。

要した経費は、約二百十万円と多額なものとなっている。

寄付金等の集金は

高野議員

年間を通して色々な集金があり、赤い羽根・緑の羽根・赤十字社・消防費・塵収集費・公民分館費・神社の集金については、集落加入者は、集落の公民館長が集金をしている。区外者については、各団体に集金するため、大変苦労しているようだが、行政として取り組みはできないか。

まず集落に加入

区外者世帯は、九月一日現在で、全世帯六千八百六戸の約十四％、九百六十三世帯あり、行政からの情報の伝達や連絡等が町民全体に充分に浸透していない状況にある。各種書類等については、郵送により通知をしており、そのために、昨年度

町長

集金については、各団体が行なうようになっているので、区外者の善意的な寄付以外は、集金の方法がないのが現状である。行政として集落に加入してもらおうよう全面的に取り組む。

区外解消策を示せ

高野議員

町長の重要施策である、四つのプロジェクトのうちには、区外対策は、入ってはいないと聞いているが、区外解消のための取り組みは。

住民参加の街づくり

町長

本町が目指す、みんなが主役の住民参加の街づくりを実現していくため、全町民自治公民館加入をめぐり、本年二月より集落担当職員制度を設け、区外対策に取り組んでおり、制度開始後、五十九世帯の方が集落に加入していただいた。更に窓口での加入促進の強化と、集落担当職員制度を活用し、地域の方々のご理解、ご協力をいただき区外の解消に取り組んでいく。

横断歩道の設置は

高野議員

歩行者の安全確保のため、田中集落内の五差路に、横断歩道を設置するよう要望した。その後の大崎交通安全協会・警察・行政の担当者三者での現場検証が行なわれ設置するようになっていたが、どのようなになっているのか。

設置は困難

町長

県道がカーブする五差路の交差点で、現在の形状のままでは、小学校低学年児童にとって、横断歩道を渡れば安全だと言う意識が強く、左右の確認をしないまま渡る危険性があり、重大事故を招く可能性が高くなるというので、設置は最善の策でないということになった。

水路の蓋の設置は

高野議員

田中集落内の町道は、農協選果場への近道であるため、交通量が多く、交差するのちに、車輪が水路に落ちる事故が多発している。水路に蓋をすることにより、道幅が、一メートル広くなるということだったので、設置するのとことだったが、どのようなになっているのか。

道路管理に努める

町長

田中・飯隈線の集落内の必要力所には蓋の設置はしてある。しかし、車の離合時や、夜間に危険を感じるなどのため、今年度に、一部敷設の計画をしている。今後も予算の範囲内で、安全安心な道路管理に努めていく。



田中集落内の五差路